



2013年 4月 30日

プロジェクト報告書

団体名 社会福祉法人子供の家 あすなろ荘

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

防災対策事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

東日本大震災において、幸いにもあすなろ荘としての被害はありませんでしたが、今後いつ起こるともわからない災害に備え、防災備蓄の重要性を改めて感じました。また築25年近くのホームにおいて、老朽化に伴い外壁の必要背も検討したことにより、本事業の中で防災備蓄及び外壁の整備を行うことになりました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

災害に対する備蓄に関しては、自立援助ホームにおいて公的支援を得られない状況の中で、今までは隣接する同法人の児童養護施設の備蓄出対応することにしていましたが、東日本大震災時に在寮生のみならず卒園生も数名あすなろ荘に避難してきたことを想定すると、ある程度の備蓄をする必要性を感じました。また、ホーム裏手の外壁が老朽化に伴うさびなどでいつ倒壊してもおかしくないため、改修する必要性を感じました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

まずは優先順位を決め、緊急度の高い外壁の補修から行いました。他の助成金も使わせていただき、残金で備蓄用食品を購入いたしました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

東日本大震災はそれまで現実的ではなかった防災意識をととも意識させるものでした。今回、特に老朽化が激しかった壁を補修することができたのはとても良かったです。食品などは隣接する児童養護施設と連携を深めながら準備を行いたいと思います。今回の助成事業を契機に非常時でも寮生を守っていけるよう一層考えていきたいと思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



外壁改修工事



改修前の外壁



改修後の外壁

非常食

